

<霊的備え>

すべて国々の民よ これを聞け。すべて世に住む者よ 耳を傾けよ。

低い者も高い者も 富む者も貧しい者も ともどもに。

私の口は知恵を語り 私の心は英知を告げる。

(詩篇 49:1-3)

<理解の手引き>

「ソドム」： ロトが定住した町で、死海の南端に位置していたと思われる。

「ゴモラ」： 死海南端に沈んでいる 5 つの町の一つです。ソドムと共に、故意に不道德の罪を犯し続けたために、主はこの町を滅ぼそうとされたのです。

アブラハムはこのソドムとゴモラを救うために、必死のとりなしの祈りをしました。アブラハムは「主の義とあわれみ」に訴えかけたのです。ここに、アブラハムの滅びる者への愛を見ることができます。

また、彼の祈りは非常に謙遜です。彼は自分の義に頼らず、自分を無力、無価値な者と認めて、主の前にへりくだっています。

しかし、驚くべきは、このアブラハムのとりなしを受け入れた「主の愛と忍耐」であります。

<考えてみよう>

(観察) 主から、ソドムとゴモラのさばきを聞いたアブラハムは、どうしましたか？

.....
.....
.....

(解釈) 彼を、このようなとりなしの祈りへと向かわせたものは、一体何でしょうか？

.....
.....
.....

(適用) この箇所から、祈りについて、あるいは神について、何を学ぶことができますか？

.....
.....
.....

<心に残ったみことばや気づき>

.....
.....
.....

<今日の祈り> (教えられたことを短い祈りで表す)

.....
.....
.....